

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「チャレンジ・つながる・自立」を合言葉に、生徒の自立への力の育成と支援者の拡大につなげる学校づくりをめざす。
生徒一人ひとりが、安心して安全に学ぶことができる教育環境づくり、地域の人々から愛され信頼される学校づくりをめざす。

2 中期的目標

- 1 生活自立コース、社会自立コース、就労支援コースの教育課程等の充実を図る。
 - (1) 生徒の特性をふまえてそれぞれのコースの教育課程について必要な改善を行う。
 - *基礎・社会生活、ライフスキル、作業学習等の充実に取り組む。
 - *研究授業・公開授業等を奨励し、教職員が主体的に授業改善に取り組む環境を整える。
 - (2) 職業に係る授業を通じて、生徒のチャレンジする意欲を育む。
 - *各コースにおける生徒の自立にむけた取組みの充実を図る。
 - *学校内外の実習先等の開拓を進め、生徒それぞれの体験の場を確保する。
 - (3) 個別の教育支援計画・個別の指導計画等の充実を図る。
 - *自立活動の長期目標に沿った支援計画を立て、生徒・保護者と目標の共有に努める。
 - *小学校等及び中学校等の個別の教育支援計画の引き継ぎ100%を目標とし、支援の経過を明確に示す。
- 2 支援教育力の向上
 - (1) 思春期における課題への支援、健康教育等の充実を図るとともに、教職員の専門性の向上を図る。
学校教育自己診断・教員アンケート「初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている」肯定的回答90%以上をめざす。
*専門家と連携した教職員による事例検討及び生徒・保護者を対象とした教育相談の充実を図る。
*性に関する指導に重点を置いた科目「ライフスキル」の指導内容の充実を図る。
 - (2) センター的機能の役割をしっかりと果たすとともに地域連携の充実に努める。
*堺市立支援学校・泉北地区の府立支援学校と連携し、地域支援の充実を図る。
*生徒の卒業後の自立を目標に、関係機関との連携を強化する。
 - (3) ICTを活用して支援教育力の充実を図る。
*ICT機器を活用した授業を推進し、視覚的支援の充実に努める。
*授業や教材等のライブラリ化に取り組み、教材の共有化と効率的な教育システムを構築する。
- 3 生徒が安心して安全に学ぶことができる学校の環境づくり。
 - (1) 生徒が自身の健康管理に努め、生徒同士がお互いに人権を尊重する学校づくりを進める。
*自身での健康管理と口と歯等の健康教育の充実を図る。
*生徒がお互いに認め合い、協力する心の育成に係る取組みに努める。
 - (2) 防災計画やBCPを柱に防災教育を計画的に推進し、危機管理体制を更に堅固なものとする。
*各種避難訓練を定期的実施し、生徒の安全教育を充実する。
*福祉避難所として地域と連携し、災害時に備えて必要な備蓄品等の整備に努める。
 - (3) 部活動、生徒（生活）指導の充実を図り、生徒の自己肯定感を育成する。
*部活動の充実を図り、生徒の主体性・社会性・忍耐力を育む。
*生徒の規範意識及び集団生活の基礎となる力を育成し、自己肯定感の育成を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 生活自立コース、社会自立コース、就労支援コースの教育課程等の充実を図る。	<p>(1) 生徒の特性や保護者のニーズに応じて、学校全体および各コースの教育課程について、カリキュラム・マネジメントの視点から必要な改善を行う。</p> <p>①基礎・社会生活、ライフスキル、作業学習等の充実に取り組む</p> <p>②研究授業・公開授業等を奨励し、教員が主体的に授業改善に取り組む環境を整える。</p> <p>(2) 職業に係る授業を通じて、生徒のチャレンジする意欲を育む</p> <p>①各コースにおいて、キャリア教育の観点から授業づくりをすすめる。</p> <p>②学校内外の実習先等の開拓を進め、生徒それぞれの体験の場を確保する。</p> <p>(3) 個別の教育支援計画、個別の指導計画の活用と充実を図る。</p> <p>①自立活動の長期目標に沿った支援計画を立て、生徒・保護者と目標を共有に努める。</p> <p>②小学校等・中学校等の個別の教育支援計画を確実に引き継ぎ、支援の経過を明確に示す。</p>	<p>(1)</p> <p>①基礎・社会生活、ライフスキル、作業学習等の授業をシラバスに沿って運営し、個別の指導計画の目標に対する適切な評価と授業改善により PDCA サイクルを確立する。</p> <p>②外部講師を招いた研究授業を実施するとともに、授業見学週間を設定し、お互いに見学し評価しあうことで、個々の教員の授業力、専門性の向上を図る。</p> <p>(2)</p> <p>①各コースで生徒のキャリア発達にむけた個別の目標を明確にし、指導の充実に努める。自立活動とキャリア教育の観点から、授業内容を有意義化する。</p> <p>②実習先の開拓を進め、職場実習の機会を増やす。校内実習の運営にあたっては、地域の関係機関との連携を積極的に行う。</p> <p>(3)</p> <p>①自立活動の長期目標を達成するために適切な短期目標を積み上げる形とする。</p> <p>①生徒・保護者と協力して学期ごとに評価と改善を行う。</p> <p>②小学校・小学部における個別の教育支援計画も含め、中学校等からの個別の教育支援計画を確実に引きつぎ、地域支援体制のなかで系統性のある支援の実現をめざす。</p>	<p>(1)</p> <p>①学診の生徒・保護者の授業・教育課程に関する項目の肯定率を80%以上。[生徒77.5%、保護者84.9%]</p> <p>②学診の教員の授業見学・授業方法等の検討の機会に関する項目の肯定率80%以上。[72.4%]</p> <p>(2)</p> <p>①学診の生徒・保護者の進路・職業教育に関する項目の肯定率85%以上にする。[生徒73.2%、保護88.5%]</p> <p>①各コースの発達段階に合わせた学習グループで卒業後を意識した授業を5回以上行ったか。</p> <p>②新たな職場実習先を5か所以上開拓する。</p> <p>②教室を工場に見立てた校内実習を2回実施する。</p> <p>(3)</p> <p>①個別の教育支援計画及び個別の指導計画の評価時に作成者が目標の妥当性について検証し、改善のサイクルを生み出す。</p> <p>①生徒、保護者と長期目標・短期目標を共有するとともに、評価・改善についてフィードバックできたか。</p> <p>②中学校等から引き継いだ個別の教育支援計画の活用事例を小学校・中学校等にフィードバックする機会を作る。</p>	
2 支援教育力の向上	<p>(1) 思春期における様々な課題に応じた指導・支援の充実を図るとともに、教員の専門性の向上を図る。</p> <p>①専門家と連携した教員によるコンサルテーション及び生徒・保護者を対象とした教育相談の充実を図る。</p> <p>②性に関する指導に重点を置いた科目「ライフスキル」の指導内容の充実を図る。</p> <p>(2) センターの機能を高め、地域連携の充実に努める。</p> <p>①堺市立支援学校・泉北地区の府立支援学校と連携し、地域支援の充実を図る。</p> <p>②生徒の卒業後の自立を目標に、関係機関と連携を強化する。</p> <p>(3) ICT を活用して支援教育力の充実を図る。</p> <p>①ICT 機器を活用した授業を推進し、視覚的支援の充実に努める。</p> <p>②教材等のライブラリ化に取り組み、教材の共有化と効率的な教育システムを構築する。</p>	<p>(1)</p> <p>①日頃からの情報共有と小単位での支援方策の検討をベースに必要に応じてコンサルテーションを実施し、関係教員の支援スキル向上を図る。</p> <p>②社会性の向上・性に関する指導に重点を置いた科目「ライフスキル」の授業により、生徒が必要なソーシャルスキルを獲得できるようにシラバスを改善する。</p> <p>(2)</p> <p>①堺市の支援教育課と連携し校区の支援機能を高める。また、堺支援学校、和泉支援学校と連携して泉北地区の支援も継続する。</p> <p>②地域の就業・生活支援センター等の関係機関との連携に努める。地域の企業・作業所等の説明会を実施する。</p> <p>(3)</p> <p>①ICT を有効活用する教員研修を実施し、授業での活用を増やす。校内の Wi-Fi 環境の構築を進め、HR 教室での情報教育の推進に努める。</p> <p>②校内の共有フォルダを活用して、教具・教材の共有に努める。業務上の書類の電子化を進め、分掌等の情報を管理する。</p>	<p>(1)</p> <p>①学診の生徒・保護者の生徒理解に関わる項目の肯定率85%以上にする。[生徒79.6%、保護者84.2%]</p> <p>①外部の専門家の研修を学期に1回行ったか。日々発生する事象への対応について、事例を共有し、個々の教員の専門性向上のためにフィードバックするシステムができたか。</p> <p>②科目「ライフスキル」について、コースごとに3年間のシラバスを実践し、目標・内容評価について見直し、改善する。</p> <p>(2)</p> <p>①堺市立小・中学校への訪問を10回以上行ったか。</p> <p>②生徒の自立に向けて福祉等関係機関との合同会議を実施したか。</p> <p>②地域の企業・作業所等の説明会を本校で1回実施したか。</p> <p>(3)</p> <p>①ICT の有効活用について夏季研修を3回行ったか。</p> <p>①全学年の授業で携帯電話のトラブル防止や情報モラルの育成について1回以上取り組む。</p> <p>②校務分掌での ICT の有効活用を図ったか。</p> <p>②教科で教材等を共有フォルダにストックし、授業改善につなげたか。</p>	
3 生徒が安心して安全に学ぶことができる学校の環境づくり。	<p>(1) 生徒が自身の健康管理に努め、生徒同士がお互いに人権を尊重する学校づくりを進める。</p> <p>①自己の健康管理の推進と口と歯等の健康教育の充実に努める。</p> <p>②生徒・教員が互いの人権を尊重し、お互いに認め合い、助け合う学校風土を構築する。</p> <p>(2) 防災計画やBCPを柱に防災教育を計画的に推進し、危機管理体制を堅固なものとする。</p> <p>①各種避難訓練を定期的に行い、生徒の安全教育を充実する。</p> <p>②福祉避難所として地域と連携し、災害時に備えて必要な備蓄品等の整備に努める。</p> <p>(3) 部活動、生徒(生活)指導の充実を図り、生徒の自己実現を支援し、自己肯定感を育成する。</p> <p>①部活動の充実を図り、生徒の主体性・社会性・忍耐力等を育む。</p> <p>②生徒の規範意識及び集団生活の基礎となる力を育成し、自己肯定感の育成を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>①生徒が日々の暮らしの中で清潔感を重んじるように指導する。生徒が自身の健康状態を客観視できるように指導する。</p> <p>②生徒・教員が互いの人権を尊重し、地域社会の一員として責任を果たすことの大切さを理解し、実践できるよう教育内容や研修の充実を図る。</p> <p>(2)</p> <p>①災害時の安全確保について定めた防犯・防災計画を教職員の共通理解とし、保護者にも説明し理解を求める。</p> <p>②堺市危機管理室や地域との連携を図りつつ、食糧備蓄を含めて福祉避難所としての役割が果たせるよう準備する。</p> <p>(3)</p> <p>①部活動の大会参加や各種検定受験など、生徒の課外活動の充実を図る。自己肯定感を高めることができる取り組みを増やす。</p> <p>②規範意識、他者と協力する気持ち、他者を思いやる心の育成に重点的を置く。周囲の生徒との交流に努める。</p>	<p>(1)</p> <p>学診の生徒・保護者の人権・健康・安全に関する肯定率85%以上にする。(生徒79.0%、(保護者86.0))</p> <p>①全生徒が自身で日々の健康チェックをすることができたか。</p> <p>②人権教育、人権に係る職員研修を年度当初に実施し、人権にかかわる委員会を年3回実施できたか。</p> <p>(2)</p> <p>①防犯防災計画に従い、安全に係る授業を3回実施したか。</p> <p>①1学期中に防犯マニュアルを作成し、校内防犯訓練を実施したか。</p> <p>②PTA の防災訓練及び研修を、PTA と協力しながら1回実施できたか。</p> <p>②学校の食糧備蓄に努めたか。</p> <p>(3)</p> <p>①部活動に参加する生徒数を前年度より増やしたか。各種大会への参加を促したか。[59%]</p> <p>②いじめ対策委員会を年4回開催し、生徒の人間関係の把握、いじめの防止、早期発見、早期解決に向けた取り組みにより生徒の望ましい人間関係が構築できたか。</p>	

府立泉北高等支援学校

働き方改革の推進	<p>4 校務の効率化と</p> <p>(1) 分掌組織の改革</p> <p>①教員の週当たりの授業の持ち時数の軽減を検討する。</p> <p>②学校運営に係る業務の見直しと分掌業務の見直しをする。</p>	<p>(1)</p> <p>①教育課程の改善をすすめ、クラス展開数、教科の授業展開数を見直すことで持ち時間の軽減する。</p> <p>・学校全体の組織・業務分担を見直し、分掌単位の業務を再配分する。</p>	<p>(1)</p> <p>①教育課程の改善や授業力向上、効果的なチームティーチングの実現によりR2年度実績から授業持ち時間数を削減する。[24 時間]</p> <p>②校務検討委員会で年度末までに校務分掌の再編案を検討する。</p>	
----------	---	---	---	--